

No. 2 2 7 8

35周年記念忘年山行 御 岳 山

実 施 日 平成18年12月9~10日(土~日)

天 候 雨/晴・曇

リ ー ダ ー 統 括 馬場 清士

ケーブルコース(9日) 横山 玲子

日出山コース(10日) 吉田 正之

馬頭刈コース(10日) 小池 述史

参 加 者 12月9日(忘年会)

佐々木篤、杉浦俊六、若村勝昭、吉田正之、佐藤金治、一柳昭、山口駿三、小池述史、宮本文雄、馬場清士、涌井良明、吉田勝教、大村巖、島本陳重、加藤光一、許斐俊二、上野キヨ、宮田貞子、横山玲子、若村貴世子、斎恵美子、吉村宏子、近田芳子、金丸徐子、服部美千代、岩井康子、大浜幸子、新井田英子、山崎富美恵、鈴木恵美子

計 30 名

コースタイム (9日) J R 立川駅(13:18)御岳駅(14:15~14:22 バス)ケーブル滝本駅(14:30~14:44 ケーブル)みたけさん駅(14:50~15:00)山楽荘(15:30)

費 用 交通費 1,940 円

宿泊費 11,000 / 10,00 円
(男性 / 女性)

2日前の天気予報で雨模様の天気につき、予定していた集中登山を諦め、全員ケーブルカーで御岳山に向かった。



みたけさん駅から傘を差し、小雨に煙る墨絵のような景色を

眺めながら、30分ほどで山楽荘に着いた。ゆっくり風呂に入り、6時から忘年会を開催した。

横山会長の挨拶に始まり、佐々木さんの乾杯の発声、歓談、自己紹介と続き、女性軍の「さくらさくら」の踊り、コーラス等を行い、写真撮影、若村さんの閉会の挨拶を頂き、30分も時間オーバーするほどの盛会であった。

(記・馬場 清士)

ケーブルコース

リ ー ダ ー 横山 玲子

参 加 者 前記(忘年会参加者)

こぶし会創立35年の特別山行は、雨となり全員ケーブルコースとなりました。

午後1時立川駅集合、この時間、雨のホームにリュックを背負った団体は私達だけだったでしょう。

午後3時ケーブルを降り傘をさして参道を歩き途中から日の出山の方へ少々下ると今夜の宿『山楽荘』がありました。歴史ある宿坊とか宿の中はいたるところ書画骨董が陳列されていました。

吉川英治の部屋、川井玉堂の間等もあり入り組んだ廊下で迷いそうでした。

1階の大広間に御師料理が盛られたお膳がズラリと並べられくじ引きで座席が決まります。

可愛いお花が書かれたカード(岩井康子さ

ん手書き)と涌井さん作成の『ソングブック』
『山行一覧表』を手にドキドキ座布団に座ります。着席するまでにひと騒ぎ。もうすでにみなさん盛り上がっています、まずは全員で



記念撮影『こぶし会創立35年記念山行 平成十八年十二月九日』と墨痕あざやかに書かれた半紙を(小池述史さんの手書き)横に置きまして午後6時総合リーダーの馬場さんの司会で忘年会が始まりました。佐々木篤さんの音頭で乾杯! 会長の挨拶その後宿自慢の食前酒「さる酒」をまずいただき猪鍋、てんぷら等々頂きながら皆さんの自己紹介を聞きました。最近入会されたばかりの方も出席されてましたし、山行でなかなか一緒出来ない方のお話も聞くことが出来とても有益でした。一段落したところで女性会員全員で扇子を持ち羽織姿で「さくら」を踊りました。何しろ練習なしのぶっけ本番でしたがアンコール! アンコール! でした。会員が気持ちを一つにして行動することは登山をする時には特に大切なことだと思います。今回のよう祝賀会の時にも皆と一緒に踊り唄い楽しみを共有し親睦を一層深められたことと思います。この後いろいろのお酒をいただき記憶があやしくなっておりますが若村勝昭さんの閉会の言葉でお開きとなりました。



の時に皆と一緒に踊り唄い楽しみを共有し親睦を一層深められたことと思います。この後いろいろのお酒をいただき記憶があやしくなっておりますが若村勝昭さんの閉会の言葉でお開きとなりました。

まだまだ唄い足りない気持ちもありましたが、皆さん存分に楽しまれたことでしょう。

そして「ああ! こぶし会員でよかったなあ~」と実感されたことと思います。

このような楽しい会を計画、手配、準備下さいました馬場さん有難うございました。ご苦労さまでした。

来年もどうぞよろしく。みんなで頑張っ
て多くの山を楽しみましょう。

(記・横山 玲子)

日出山コース(10日)

リーダー 吉田 正之

参加者 佐々木篤、宮田貞子、横山玲子、吉田正之、山口駿三、大浜幸子、許斐俊二 計7名

コースタイム 山楽荘(8:30)日の出山(9:10~9:30)顎掛け岩(10:05~10:10)つるつる温泉(11:00~13:05 バス)武蔵五日市駅(13:25)

費用 1,170円(つるつる温泉~武蔵五日市駅 バス 390円 武蔵五日市駅~新宿駅 780円)

(入浴料800円)

夜来の雨が上がり一転、快晴。山楽荘で大岳山コースの一行を見送り日出山に向かいほぼ水平の道を歩き、暫くして上り坂となると東雲山荘前が出る。すぐに日の出山山頂に到着。真近に大岳山が聳え、秩父、奥多摩の連山が沸きあがる雲海の上に幻想的に浮いて見える。



山座同定やア

リバイ写真撮影の後、つるつる温泉めざして下りにかかる。

日本武尊が蝦夷征伐の途中、顎を乗せて



関東平野を見渡
したと伝えられ
る顎掛け岩で一
服。あるかなし
かの風に黄葉が

はらはらと降りかかる道を のんびりと歩
きつつる温泉に到着。文字通り湯質が肌



につるつると心地良い。
昨夜のアルコールが抜
けたところで ビール
で乾杯し広間でゆっ

たりとくつろぐ。
二日間 飲んで騒
いで 幹事始め皆
様お疲れ様でした。



楽しい忘年山行で
した。ありがとう
ございました。

(記 吉田正之)

馬頭刈尾根コース(10日)

リーダー 小池 述史

サブリーダー 馬場 清士

参加者 上野キヨ、斎恵美子、杉浦俊
六、近田芳子、服部美代子、
佐藤金治、一柳昭、涌井良明、
大村巖、島本陳重、新井田英
子、山崎富美恵、鈴木恵美子
計 15 名

コースタイム 山楽荘 (8:30) 七尾平
(8:40~8:45) 大岳展望台
(10:10~10:25) 富士見台
(11:15~11:40) つづら岩
(12:10) 馬頭刈山
(13:35~13:50) 軍道バス停

(15:10~15:26 バス)武蔵五日
市駅(15:40)

費用 軍道バス停 武蔵五日市駅
300 円 武蔵五日市駅 新
宿駅 830 円

前日の雨は上がって好天、七尾平で身支
度を整え大岳山を目指す。

途中今日は山岳マラソンとの事、スター
トは9時30分と聞く、追いつかれなけれ
ばと心配、

何とか選手
の姿を見ず
に展望台に
着く。



馬頭刈コースに入
り富士見台返はル



ンルン、しかし
この先は難路と
なりいくつかの
登り下りと岩場



の多いコースは結
構きつい。
馬頭刈山で休息
し一気にバス停へ、
やや長いコースお
疲れさまでした。

(記・小池 述史)

